

## いなむら市長の「い～なこの街 尼崎」 4月

テーマ：「東日本大震災の支援」等について

### DJ(林)

さて今回は、東日本大震災に関すること、そして5月から始まります「みんなで語ろう！～いなむら市長とともに 車座集会～」と「市長と語ろう！～いなむら市長の見せて・聴かせてあまがさき～」についてお話を伺いたいと思います。

どうぞ、よろしく申し上げます。

### 市長

まずは、この度の東日本大震災で被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。

また、お亡くなりになられた方々のご冥福を深くお祈りいたします。

尼崎市でも震災発生直後から、消防、水道、そしてそのあとは、心のケアや健康のチェックにあたる保健師や、避難所の運営のお手伝いをするような職員が現地に行って、応援にかけつけて来ています。

また、市民の皆様にも物資の提供の呼びかけもさせていただきまして、この仕分けのボランティアも市民の方が担ってください、本当に多くの方が今何か自分にできることはないか、募金をしてくださった方もいらっしゃるし、今尼崎市のいたる所で、そういう活動が取り組まれているというような状態です。

### DJ(林)

そうですね。稲村市長は先日被災地へ行かれたとお聞きしましたが、被災地では、どのような状況でしたか？

### 市長

はい、今月（4月）の5日の日に宮城県の気仙沼市を訪ねてまいりました。

### DJ(林)

津波で大変な所でしたね。

### 市長

津波の上にまた、火災が重なったということで、燃えたあとは一面金属が混ざった瓦礫がものすごく量があるような状態で、非常に復旧・復興に長い時間がかかりそうだなということを感じました。

尼崎市はですね、厚生労働省からの要請で保健師が気仙沼市の皆さんの心のケアにあたらせていただいたり、兵庫県が取り組んでいる広域連合の枠組みの中で避難所の運営のお手伝いに気仙沼市に行ったりしています。

帰ってきました職員の話・報告を聞きますと、やはり顔の見える関係をしっかりとつないでいって、息の長い応援をしていく必要があると非常に強く感じて帰ってきていましたし、私もこれからそういった腰を落ちつけた支援をやっていくためには、きちりとパートナーシップを持ってやっていく必要があるんじゃないかと思い、気仙沼市の方に伺いまして、先方の市長さんにもご挨拶をさせていただきました。

これから気仙沼市の状況にあわせて、どんな経験を持った職員をどのような期間派遣するのが適切なのかという事を、しっかりとやりとりをしながら応援をしたいと思っております。

市民の皆様にも気仙沼市で「ボランティアをできないか？」とか、「こういう応援ができないか？」という呼びかけをさせていただくかもしれません。

また皆様にもご協力をいただければうれしいです。

みんなで頑張っていこうという、そんな動きを作っていきたいなと思っております。

## DJ(林)

それでは次に5月から始まります「みんなで語ろう！～いなむら市長とともに 車座集会～」と「市長と語ろう！～いなむら市長の見せて・聴かせてあまがさき～」についてお聞きしたいと思います。

## 市長

はい。昨年まで前市長が「車座集会」、これは皆さんに集まって頂いて、いろんな意見をどんどん出しあいましょうという集会ですね。

これと、いろんな活動をされている市民の方やグループの方に市長室に来て頂くという「市長室オープントーク」というような取り組みをしていたんですけども、これをリニューアルさせて頂いて、私もしっかりと継続をしていきたい、市民の皆さんとの対話ややりとりを大切にする、そんな市政運営をしていきたいと思っております。

そこで5月に、第1回目の「車座集会」、これもネーミングを「みんなで語ろう！～いなむら市長と共に車座集会～」という形にさせていただいて開催をいたします。

## DJ(林)

はい。5月はどこで開催されるんですか？

## 市長

はい。阪神尼崎駅の南側の開明庁舎で、中央地区の地域振興センターなどがある所ですね。そちらで予定をさせてもらっています。

これは第1回目ということで私が尼崎市をどんな風に街づくりを進めていきたいか、今年度はどんな事業を予定しているか、そういったことを少し報告させていただいて、皆様からもご意見を伺いたいなと思っております。

また、これまでの取り組みに加えまして、その場で集まって今日はどんな話をしようかという、これまでの車座集会だけではなく、例えば、私も今子育てをしながら仕事をさせていただいていますが、そういう子育て中の方々と意見交換をしてみようとか、環境問題に取り組んでいらっしゃる方と交流をさせていただきたいとか、その年齢やグループの方とターゲットを絞る形で意見交換をさせていただくようなパターン。また、あらかじめテーマはこういう話で、みんなで話そうということを決めて参加者を募るようなパターンですとか、いろんな方に参加をしてもらいやすい、そんな車座集会として、工夫を重ねていきたいなと思っております。

## DJ(林)

そうですか。何かお聞きしていたらすぐにでも飛んでいきたいような、参加したいような気持ちになってきました。

#### 市長

初めて車座集会をさせていただくということで、正直ときどきしているんですけど、ぜひ皆さん、沢山の方に参加していただけたらうれしいなと思います。

また「市長と語ろう！～いなむら市長の見せて・聴かせてあまがさき～」。

これは市長室オープントークをリニューアルするんですけれども、グループの方に、これまでのように市長室に来ていただくパターンや、私の方がどんどん現場に出かけて行って、皆さんの活動の様子を実際に見せていただいたり、お話を伺ったり、それをまた市民の皆さんにお伝えしたりと、そういった取り組みをしていきたいなと思っています。

これは希望されるグループの方に登録をいただいて、その活動内容や時期に応じて実施していきたいなと思っていますので、これも皆さん是非、どんどんお気軽にお申し込みいただければ嬉しいです。

#### DJ(林)

楽しみにしております。

さて、「みんなで語ろう！～いなむら市長とともに 車座集会～」と「市長と語ろう！～いなむら市長の見せて・聴かせてあまがさき～」がまた新しく始まることで、市長・そして市役所との距離が縮まって、市政を身近に感じることができそうですね。

#### 市長

はい。ぜひ私も市民の皆さまとこうやって直接お話をして、いろんな事を共有していく、そんな街づくりをしていきたいと思っています。

#### DJ(林)

はい。今日は第1回ということで、稲村市長、ありがとうございました。

#### 市長

はい。ありがとうございました。これからもよろしく願います。

#### DJ(林)

よろしく願います。